

会議録

会議の名称	第3回清須市総合計画審議会（専門部会）
開催日時	平成24年1月12日（木）午後1時30分
開催場所	市役所本庁舎 3階 小会議室
議題	1 開会 2 議事 (1) 基本構想・基本計画の見直し（案）について (2) パブリック・コメントについて 3 閉会
会議資料	会議次第 配席図 委員名簿 資料1 清須市第1次総合計画基本構想・基本計画見直し後の全体像 別紙1 基本構想（案） 別紙2 基本計画（案）
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	公開
傍聴人の数 （公開した場合）	0人
出席委員	浅井委員、青山委員、小川委員、齋藤委員、山内委員、牧野委員、伊藤委員
欠席委員	増田委員
出席者（市）	柴田企画部長
事務局	（企画政策課） 飯田課長、山口副主幹、鹿島係長、服部主査、岩田主事
会議録署名委員	青山委員、小川委員
<p>1 開会</p> <p>●事務局（飯田課長） ただ今から、第3回清須市総合計画審議会を開催します。皆様には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。それでは、牧野会長、よろしくお願ひいたします。</p> <p>2 議事</p> <p>（1）基本構想・基本計画の見直し（案）について</p> <p>●牧野会長 昨日と本日にわたり、専門部会として、各分野にわたる見直しを審議いたします。 本日は、7つの基本施策のうち、「1 安全・安心で自然が息づくまちづくり」、「3 水と緑に恵まれるうるおいのあるまちづくり」、「4 便利で快適に暮らせるまちづくり」、「7 新しい時代に対応した参加と交流のまちづくり」を中心に審議し、最後にその他の施策について審議することといたします。 それでは議事に入りますが、その前に、会議録署名委員の指名をしたいと思います。本日の会議の会議録署名委員は、青山委員と小川委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。</p>	

では、議事を進めて参ります。議事（1）基本構想・基本計画の見直し（案）のうち「1 安全・安心で自然が息づくまちづくり」に関する見直し内容について、事務局から説明をお願いします。

※ 資料1「1 安全・安心で自然が息づくまちづくり」について、事務局から説明

●牧野会長

ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等をお願いします。

●齋藤委員

清須市は、津波の心配はそれほどないと思いますが、3つの川に囲まれており、液化化現象が起きやすい地域であると思われるが、そういった記述が見当たらない。

また、当地域は内水氾濫しやすい場所であり、避難所までの経路の確保が重要なこととあります。当然、避難路となる道路整備も含めての対策が必要ではないでしょうか。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●牧野会長

他にご意見、ご質問等がありますでしょうか。

●浅井委員

市内の小中学校の耐震化は100%とお聞きしたが、各町内の公民館の耐震化率ほどの程度か。また、指定避難所になっていると思うが、公民館の耐震化費用は市が負担するのですか。

清須市は川に囲まれており、五条川、新川、庄内川の堤防が破堤した場合、いずれの堤防であっても甚大な被害が出る。例えば、五条川の右岸側が破堤した場合と清須市側である左岸が破堤した場合では、川に囲まれ三角州のようにになっている清須市側の方の被害が拡大する。

また、内水氾濫を防ぐためのポンプ場の稼働にしても、排水先の川の水位が一定の高さを超えると、停止しなければならない。ポンプを停止すれば、内水は溜まっていく一方である。こういった事実をもっと市民に周知すべきではないですか。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●小川委員

別紙1の「(9) 自治・コミュニティ活動の振興」の記述について、ブロック制に関する記述が「地域防災力の向上を図るために・・・」とあるが、この記述では、福祉の部分でのブロック単位での活動が見えなくなる。ブロック製の趣旨は多様であるから、記載内容を修正してはどうでしょうか。

また、清洲総合福祉センターは指定避難所ではなくなったが、未だに指定避難所と思っている方がたくさんいる。ハザードマップを始め、防災に関しては、今以上に住民への周知が必要と感じます。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●牧野会長

別紙2の4ページの記述で、住宅耐震への補助制度に関し、現行計画では「木造住宅・・・」との記載であるが、見直し案では「住宅・・・」との記載となっている。

これは、木造住宅以外も、今後は耐震補助の対象とするとの意味で、このような記載になっているのですか。

●事務局（飯田課長）

※ご提案の趣旨を踏まえて再検討する旨を回答。

●牧野会長

防災対策の充実に関して市内在住の外国人の方に、いかにして避難情報を伝えるかということをして市としてどのように考えているのか。日本語を理解できない外国人には、サイレンがなっても、防災行政無線を聞いても、何かが起こっていることは理解できても、具体的にどうしたらよいかわからない状況になってしまう。そのあたりの対策を市としては、どのように考えられているのか。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●青山委員

防災について、一人一人が意識を持つことが大切なので、防災教育又は防災学習といったことも対策として入れていくべきではないでしょうか。昨年、消防署に行く機会があり、緊急時における避難の対応を勉強させていただき、こういう取り組みの重要性を感じました。啓発事業として入れていただきたいと思います。

●伊藤委員

地震発生時に津波の被害が全くないとは言えないけれども、清須市については、水害対策がより重要と考えております。家の近くの助七公園に貯留施設が設置されましたが、公園を見てもよく分からないので、詳細について教えていただきたい。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●浅井委員

伊藤委員の言われた貯留池について、現在設置されている貯留池は、新川流域総合治水対策事業の何割程度になっていますか。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●浅井委員

ポンプ場の整備を始め、防災対策が進まないのは、整備に係る土地の買収や近隣住民の承諾が得られないことも一つの要因と思います。

市民に防災対策の重要性や都市計画の重要性を考え、協力する意識がなければ、早期の施設整備や開発はできない。市内に狭小な道路は多数あるが、その道路を拡張したり、整備するには、市民の理解が必要不可欠であると思う。

●牧野会長

やはり、安全・安心に関する内容につきましては、活発なご意見をいただきますが、他にご意見、ご質問等がありますでしょうか。

●牧野会長

では、議事を進めて参ります。議事（1）基本構想・基本計画の見直し（案）のうち「3 水と緑に恵まれるうるおいのあるまちづくり」及び「4 便利で快適に暮らせるまちづくり」に関する見直し内容について、事務局から説明をお願いします。

※ 資料1 「3 水と緑に恵まれるうるおいのあるまちづくり」及び「4 便利で快適に暮らせるまちづくり」について、事務局から説明

●牧野会長

ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等をお願いします。

●小川委員

この部分という事ではなく、総合計画基本構想の見直しを行う中で、総合計画の一番の願いは基本理念であって、それを受けて、総合計画ができるのだと思いますが、総合活動計画であれば色々な意見が出るのかと思うのですが、総合計画は清須らしい何かというのが総合計画かと思いますが、清須らしい事業をやろうとなると、では、清須らしいとは何か、ということになるのですが、それを具体化して活動計画が出てくる。その後の仕分けは考えていかれるかと思いますが、そういう意味で、活動計画が何か変わるというのではなくて、総合計画、総合活動計画というのが、所々は入っている、そのあたりの区別が難しいと感じる次第です。ですから、また具体的にこんなことと出た時に、企画政策課長がすべてというのは難しいでしょうから、一旦受け取っていただいて、担当課の方から答えが出るという個々の課題について、答えを頂ける機会はあるのでしょうか。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●牧野会長

市街地整備の推進とあり、具体的な計画としては、JRや名鉄駅周辺の事業が載っているが、以前、西枇杷島の間屋史料館に行ったら、あの辺は本当に道幅が狭い。あの辺りの道路拡張等の整備を市はどのように考えているのでしょうか。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●山内委員

この計画に従って5年間進めてきたと思いますが、どういうことがどれくらいの割合で計画通り進んでいて、このまま進めていけば良いと掴んでいらっしゃる部分や、計画には上がっているけれども、計画通り進んでいない部分があるのかと思うのですが、そういうものが見えていない。この計画は、本来は、市民がきちんと知っていて、市としてこうして進めていきますと、了承の上、進めていかれるものかと思うのですが、市民に対して、計画がどれくらい進んでいるかという実態については、把握できている市民の方が少ないと思います。そういう中で、雲の上の計画のような気がして、自分の中ですんなりと下りてこない。

今の計画の文章を見ても、推進しますとか、努めますとか、図りますといった、当然そういう言葉になるのですが、それが5年経って、市民にもっと協力して欲しいのであれば、協力を得られるような状況を考えて、計画を見直すということも必要ではないかと思います。何がどう具体的なことは分かりませんが、どれくらい皆さんが、この部分は、清須市は頑張っている、あるいは怠けているといった感覚がないのではないかという気がします。

●事務局（飯田課長）

※全ての事業を評価するのは困難なため、2年に1回、4,500人の市民を対象とした市民満足度調査を実施し、行政サービスの対象者である市民の皆様に評価いただいている旨を説明。

●牧野会長

総合計画審議会の委員になった時に、最初の総合計画から、どれくらいの事業ができたのかと市のホームページを見た時に、施策事業評価シートというのがあり、それ

ぞれの施策のシートを見たら、どれくらいの予算を使っていますとかは分かるが、事業の進捗は見てあまり分からなかったというのが実感です。

教育委員会では、事業評価として「事務の管理及び執行状況の点検・評価結果報告書」を作成していたと思うが、より詳細に事業の実施内容について記載されていたと記憶している。もう少し分かりやすい事業の評価を行うべきと考えている。

●伊藤委員

区画整理事業に関する質問ということで、新川に橋がかかり、清洲の長者橋からアルコ清洲の方に抜ける道路の整備に時間がかかっているが、どういう状況になっているかお聞きしたい。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

●小川委員

広報の仕方ということで教えてください。別紙2の10ページの下から数えて5行目で、特別養護老人ホーム建設費と書いてある。建設費をここに置かれるという事は、特養が新たにできると読み取れてしまうのですが、後ろを読めば、広域ですから、清須市ではなくても、他の市かもしれないのですが、限られた行数で間違った捉え方をされるといけないということで、総合計画書を初めて見られる方にも誤解を与えないような記載方法としたほうが良いのではないのでしょうか。実際はどうなっているのでしょうか。

●事務局（飯田課長）

※建設費の借入金の返済が残っているため建設費との表現としたが、誤解を招くため表現を改める旨を回答。

●牧野会長

では、議事を進めて参ります。議事（1）基本構想・基本計画の見直し（案）のうち、「7 新しい時代に対応した参加と交流のまちづくり」について、事務局から説明をお願いします。

※ 資料1「7 新しい時代に対応した参加と交流のまちづくり」について、事務局から説明

●牧野会長

ありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご意見、ご質問等をお願いします。本日、最後の議事となりますので、事務局から説明のあった「7 新しい時代に対応した参加と交流のまちづくり」以外についてもご意見等がありましたら、併せてお願いいたします。

●伊藤委員

施策指針1の最後で、斎苑施設の整備等とありますが、現状はどうなっていますか。予定地も確保されて造られる予定であるのでしょうか、状況を教えて頂きたい。

●事務局（飯田課長）

※〈現状説明〉

議事（2）パブリック・コメントについて

●牧野会長

それでは議事（2）パブリック・コメントについて、事務局から説明をお願いします。

※ パブリック・コメントについて、事務局から説明

●牧野会長

以上で、本日本日予定されていた議事は全て終了いたしました。

最後に、特に何かございましたら、お願いいたします。その他、事務局から報告事項はありますか。

●牧野会長

それでは、これをもちまして審議会を終了いたします。どうもありがとうございました。

3 閉会

(時に午後 3 時 2 0 分 閉会)

問い合わせ先	企画部 企画政策課 052-400-2911 内線1221
--------	----------------------------------

会議の経過を記載して、その相違ないことを証するためここに署名する。

会 長 牧 野 香 三

署名委員 青 山 禧 子

署名委員 小 川 禎 一